

製品名: コピン 8 ウサギ ポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09251**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	CPNE8
別名	CPNE8; Copine-8; Copine VIII
遺伝子 ID	144402.0
SwissProt ID	Q86YQ8
免疫原	抗血清はヒト CPNE8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

背景

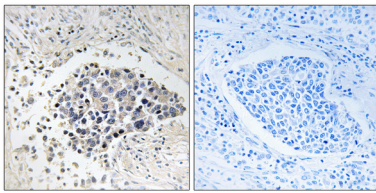
コパイン 8(CPNE8) ホモサピエンス カルシウム依存性膜結合タンパク質は、細胞膜と細胞質の界面における分子レベルのイベントを制御すると考えられています。この遺伝子は、N 末端に 2 つの II 型 C2 ドメイン、C 末端にインテグリン A ドメイン様配列を含むカル

シウム依存性タンパク質をコードする複数の遺伝子の1つです。[RefSeq 提供、2008年7月],機能: 膜輸送に関与する可能性がある。カルシウム依存性リン脂質結合特性を示す。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。類似性: コパインファミリーに属する。類似性: 1つの VWFA ドメインを含む。類似性: 2つの C2 ドメインを含む。

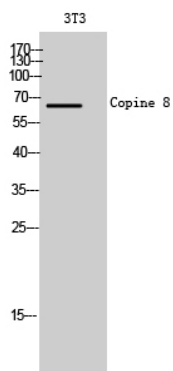
研究分野

-

画像データ



CPNE8 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Copine 8 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析